

サステナブル経営の推進体制

サステナブル経営の推進体制

シチズングループでは、特定したマテリアリティの解決にも貢献しながら、サステナブルファクトリーから生み出されるサステナブルプロダクツを提供し続けるサステナブル経営を実践していくために、2020年4月に「サステナビリティ委員会」を設置しました。これは、シチズン時計の社長を委員長とし、シチズン時計の常勤取締役、事業統括会社社長を委員とする、シチズングループ全体としてのサステナブル経営を推進する委員会です。この委員会の事務局である

シチズン時計のCSR部門および経営企画部は、グループ各社のCSR担当、経営企画部および各マテリアリティの委員会事務局と共に、定期的を開催するサステナビリティ事務局会議も運営し、各社でのサステナブルな課題の検証や活動の取り組み状況の進捗等を定期的に確認しています。各社からの提案や報告事項は、サステナビリティ委員会に上程され審議されます。

サステナビリティ委員会

目的と役割	シチズングループのサステナブル経営を推進する (1) マテリアリティの特定と定期的な見直し (2) 既存事業の持続可能性向上と社会課題解決に寄与する取り組みの推進 (3) ESG 課題への取り組み方針策定とモニタリングの実施
サステナビリティ委員会の開催	4半期に1回開催(3か月ごとの開催)

サステナビリティ委員会の下部委員会として、グループの品質コンプライアンスを審議する「グループ品質コンプライアンス委員会」、採用や人材育成のほか国籍、LGBT等に関わる差別や人権についても審議する「グループ人事委員会」、環境問題全般についてグループ全体の機会やリスク、対策等を審議する「グループ環境委員会」を設置しています。「グループ持続可能な調達委員会」は2020年に新設し、グループ全体での持続可能で責任ある

サプライヤー管理体制の再整備について審議します。また、経営に関わるリスクを扱い、経営基盤を強固にする側面に関しては、「グループ情報ガバナンス委員会」「グループ法務・コンプライアンス委員会」「グループ事業継続マネジメント委員会」を設置しています。これらの経営基盤に関わるリスクについて取り組む委員会は、毎月開催される経営会議のもとに設置され、問題の早期発見や審議など、即時対応が可能な体制としています。

サステナビリティ推進体制

